

people×peopleは、まちづくり活動の情報交換の場です。このコーナーへの掲載を希望される団体または個人の方は、さいたま市都市総務課(TEL:829-1394)までお問い合わせください。

お宝満載 さいたま

今回は、主に中山道・見沼田園を中心に、さいたま市の地域資源を再発見、再発掘し、ふるさと意識やまちづくり意識を高め、同時に仲間づくりの場を目指している「さいたまふるさと塾」を紹介します。



小村田(こむらだ)氷川神社[中央区]で資料を手に、その由来などを学ぶ



NPO法人さいたまふるさと塾を運営している理事さんたちと三宅塾長(右から3人目)



NPO法人さいたまふるさと塾を運営している理事さんたちと三宅塾長(右から3人目)

さいたまの魅力を発信する拠点が誕生

さいたま市の「産業振興ビジョン」で打ち出された、まちの賑わいづくり構想「中山道ルネッサンスプロジェクト」。その一環として、平成18年10月に空きビルを活用した「さいたまふるさと館」がオープンしました。さいたまふるさと塾はそれにあわせ

う三宅さん。浦和美園駅周辺の土地区画整理事業や武藏浦和駅周辺の市街地再開発事業が造り上げられていく過程を見ているといいます。「まちは出来上がったものを見ただけではそのまちのことはわからない。まちや建物がどんな人の手によってどのように形成されていくのかを知ることで、そこに愛着と理解が生まれます。」

中山道ルネッサンスプロジェクト
平成15年度に策定された「さいたま市産業振興ビジョン」の中で、大宮・与野・浦和をつなぐ中山道を中心とした地域の新たな魅力・賑わいづくりを、市民、商店街、商工団体、行政の連携のもと進めしていくプロジェクト。

さいたまふるさと塾
事務局:市民文化センター内
住所:さいたま市浦和区高砂2-4-6 TEL:822-2548

さいたまふるさと館
住所:さいたま市浦和区高砂2-5-15
浦和駅西口徒歩5分
TEL:834-1611
開館時間:10:00~17:00
閉館日:毎週月曜日・年末年始
2・3階は有料により貸出可
(上記にお問い合わせください)



2階で催された展示会の様子



中山道沿いにオープンした「さいたまふるさと館」
1階~3階まで、様々な催しが行われている

人と人、地域と人をつなぐ架け橋
まち歩きを通して、自分の足で、自分の目で、地域の歴史や成り立ちを知り、改めて自分の住む地域のことを学んではいかがでしょうか。

●2階はふるさとギャラリー
市民の活動や作品を発表・展示する空間を用意しています。「地域と人をつなぐ」をテーマに、小学生たちが学校近隣の歴史について調査した資料等を展示するなど、市民に新しい風を送りつづけています。

●3階はふれあい研修室
現在、「さいたま熟年ハイスクール」という講座が行われています。年配の方が学生時代に戻った気持ちで勉強しようという試みのもと、地域の歴史を学ぶ「ふるさと学」や江戸庶民の生活を学ぶ「江戸落語講座」など多岐に渡る講座内容です。

●1階はふるさと情報センター
さいたまの歴史を中心いて展示しており、博物館をはじめとする施設の催しの案内やパンフレットなどが置かれ、地域の人々をはじめ、市内外の人間交流の場ともなっています。また、浦和まつりなどの催しにも創意工夫を凝らして積極的に参加しており、「駄菓子のふるさと屋」という名前で駄菓子店を出店しました。



見沼代用水東縁(ひがしひべり)[見沼区]を散策する



高沼用水縁(こうぬまようすいべり)[中央区]を歩く

さいたまにはお宝がたくさんある
「さいたまには何も無い」という人がいるが、実際に探してみると自然の恵み、歴史的な遺産、伝統産業などのお宝がたくさんある。それにより多くの人に知つてもらって、いという思いからまち歩きを始めた。探訪した場所は中山道や見沼田園を中心にして300箇所にのぼっています。

同塾の活動が始まったのが平成15年。昭和53年にゼネコンを早期退職後、古本市や骨董市といったイベントを開催し、地域の活性化に取り組んでいた三宅さんが、もっと地域の人たちにまちを知つてもらいたいという思いからまち歩きを始めた。探訪した場所は中山道や見沼田園を中心にして300箇所にのぼっています。

まちづくり 人づくり

「地域に住む人が、そのまちを知り、愛着を持つことこそがまちづくりの第一歩。そのままの良さや特徴を知ることは以外と難しい。自分から積極的に努力しないと知る機会は少ない。書物や情報誌でその地域の特色を見るることはできるが、それでも今ひとつピンとこないし、愛着もわかない。実際に自分の目と足を使つて肌でそのまちを感じることが大切です。」自然・歴史・伝統産業・ユータウンなどをテーマに、さいたま市のほぼ全域を3年かけて歩いたとい